

第2回碧南市まなびさぽーと資金支給審査会次第

とき 令和7年10月23日(木)

午前10時から

ところ 碧南市役所5階 教育委員会室

1 開会

2 教育長あいさつ

3 会長あいさつ

4 議題

(1) 協議事項

令和7年度碧南市まなびさぽーと中学生の認定について

資料1

(2) 報告事項

令和7年度碧南市まなびさぽーと中学生の表彰式について

資料2

5 その他

6 閉会

令和7年度碧南市まなびさぽーと資金支給審査会委員名簿

氏 名	役 職 名	選 出 基 準	備 考
小田 智昭	碧南高等学校長	識見を有する者	会長
鈴木 政枝	碧南市主任児童委員代表	識見を有する者	
東海林 利治	東中学校P T A会長	識見を有する者	
石原 竹春	東中学校長	中学校長	副会長
山岸 芳樹	中央中学校長	中学校長	
鎌谷 祥行	学校教育課長	識見を有する者	

- ・碧南市まなびさぽーと資金支給に関する条例第10条第2項の規定により、教育委員会が委員を任命することとなっている。
- ・碧南市まなびさぽーと資金支給に関する条例第11条第2項の規定により、教育委員会が委員のうちから会長を任命することとなっている。
- ・任期：令和7年4月1日～令和9年3月31日

碧南市まなびさぽーと中学生の募集と選考について

碧南市教育委員会

1 趣旨

碧南市まなびさぽーと資金の支給対象者（さぽーと中学生）を選出するため、中学生を対象に科学に関する研究作品を募集し、その中から優秀な作品を選考して、碧南市まなびさぽーと資金支給審査会に諮る。

2 募集要領

- (1) 募集内容は「科学に関する研究」とし、その内容は、
 - A 実験を中心に追究したもの
 - B 観察・採集を中心に追究したもの
 - C 調べ学習を中心に追究したもの とする。
- (2) 募集は年1回とし、夏休みに個人研究もしくは共同研究で募集する。
- (3) 対象は市内の中学生とする。
- (4) A4レポート用紙10枚程度とする。なお、本文中に貼付する表や写真などの資料は枚数に含む。作品がある場合は、一緒に提出する。
- (5) 表紙に、研究題名（部門）、学校名、学年、組、氏名を明記する。
- (6) 各学校で取りまとめ教育委員会学校教育課へ提出する。なお、受付期間及び提出期限は、募集のチラシなどで別途指示する。

3 審査

- (1) 各学校代表の理科教諭で組織する選考委員会を設置し、応募作品の審査を行う。
- (2) 選考委員会において、下記のとおり優秀作品を選出し、碧南市まなびさぽーと資金支給審査会に諮る。

- | | | |
|--------|-------|----------------------|
| ア 最優秀賞 | 1点 | (1名又は1団体につき 20,000円) |
| イ 優秀賞 | 2点以内 | (1名又は1団体につき 10,000円) |
| ウ 準優秀賞 | 2点以内 | (1名又は1団体につき 5,000円) |
| エ 努力賞 | 15点以内 | (1名又は1団体につき 2,000円) |
| オ きらり賞 | 20点以内 | (1名又は1団体につき 1,000円) |

- (3) 選考委員会の議事内容

優秀作品の選考のほかに、作品の募集・審査についての打合せ、次年度に向けての打

合せ等

4 表彰

審査の結果により、優秀な研究をした者またはグループの表彰を行う。

- (1) 日時 令和7年1月25日（火）午後4時15分から4時45分まで
- (2) 場所 会議室1（市役所2階）
- (3) 内容 表彰式（準優秀賞までの入賞者のみ）

※努力賞及びきらり賞の表彰は各学校において行う。

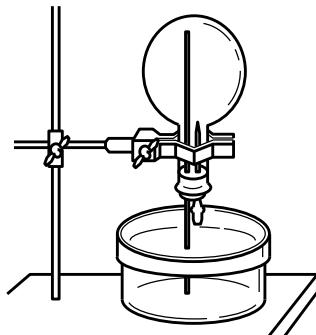
5 選考委員

委員長	<input type="checkbox"/> 杉浦 哲	(西端中学校校長)
委 員	<input type="checkbox"/> 榊原 康治	(新川中学校) <input checked="" type="radio"/> 西川 力躍（中央中学校）
	<input type="checkbox"/> 藤浦 司	(南 中学校) <input type="checkbox"/> 平岩 理紗（東 中学校）
	<input type="checkbox"/> 上辻 将	(西端中学校) ※○：継続、□：新規

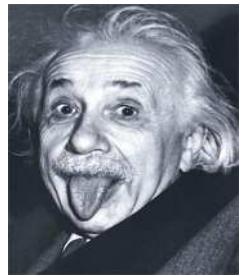
科学コンクール

募集のお知らせ

や
ぐ
る
ー
は、
ぜ
ひ
応
募
し
て
み
よ
う!
続
け
ん
研
究
し
て
い
る
個
人



『知識より
想像力』



アルベルト・aignシュタイン

【募集要領】

1 内 容

科学に関する研究

- 【部門】 A : 実験を中心に追究したもの
B : 観察・採集を中心に追究したもの
C : 調べ学習を中心に追究したもの

2 対象者

碧南市内の中学生、個人又はグループ

3 受 付

令和7年9月1日（月）



4 提出先

理科担当の先生まで

5 形 式

A4 10枚程度のレポート形式

（写真・資料は、枚数に含む）

※ 作品がある場合は、一緒に提出

※ 表紙に、研究題名（部門）・学校名・学年・組・氏名を明記

※ 模造紙は不可

6 その他

レポートは返却しません。碧南市の中学生の教育のために使用させていただきます。

【表 彰】 審査により、以下の賞を選出する。

- | | | | |
|-------|-----------|-------|------------|
| ★最優秀賞 | 2万円（1点以内） | ★努力賞 | 2千円（15点以内） |
| ★優秀賞 | 1万円（2点以内） | ★きらり賞 | 千円（20点以内） |
| ★準優秀賞 | 5千円（2点以内） | | |

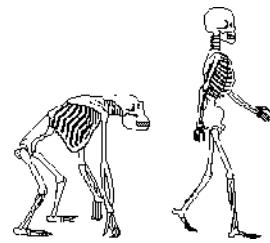
■理科研究の進め方■

1 テーマを考える

- ① 理科に関係しているテーマを選ぶ。
- ② 自分の生活の中から見つけたテーマがよい。
- ③ いろいろな実験や観察ができるようなテーマがよい。
- ④ ある程度、疑問の答えが予想できる（仮説が立てられる）テーマがよい。
- ⑤ よいテーマを見つけることが、よい研究になるポイントである。

2 テーマについて事前調査をする

- ① 家の人、専門家などに聞く。
- ② 本で調べる。
- ③ インターネットで調べる。
- ④ 簡単な実験をしてみる



3 テーマを決定し、仮説を立てる

- ① 事前調査で解決してしまった場合は、「1 テーマを考える」に戻る。
- ② 事前調査をしているときに、新たに調べたいテーマが見つかった場合は、テーマを変更する。
- ③ 事前調査でテーマを明確にし、調べるポイントを絞る。
- ④ 自分なりの仮説を立てる。

4 追究する

- ① 仮説を確かめる実験方法を考え、実験する。
- ② 実験方法や測定方法など工夫し、実験を進める。
- ③ 実験を進める中で、仮説を訂正しながら、新たな実験方法を考え、実験する。また、新たな疑問が生じたときには、その都度、仮説を立て、実験を進める。（追究が深まるほどよい研究になる）
- ④ 実験の過程では、その都度、写真撮影をしておき、レポート作成のときに使用する。

5 研究のまとめのレポートを作成する

- ① これまでの優秀作品を参考にするとよい。（理科室の掲示板などに掲示してあります）
- ② 「■理科研究レポートの基本的なまとめ方■」（下記）を参考にする。
- ③ 見出しなど見やすいように、きれいに仕上げる。
- ④ 表や写真、グラフなどを使って分かりやすくする。
- ⑤ 家族や友達、先生に見てもらい、研究内容が分かりやすくまとまっているか確認し、わかりにくい箇所を訂正する。

■理科研究レポートの基本的なまとめ方■

以下のような順番でまとめていくと、すっきりまとまることが多い。しかし、必ずこれでなければならぬというわけではないので、自分で考えてまとめる。まとめ方がよくわからないときは、先生に聞くとよい。

1 研究の動機

どうしてこの研究を始めようと思ったのか、その理由を簡単に書く。

2 研究を始める前に

研究を始める前に、研究のヒントを得るために、事前調査を行う。

- (1) 家の人に聞く
- (2) 専門家に聞く
- (3) 本で調べる
- (4) インターネットで調べる
- (5) 自分たちでやってみる

3 研究の目的

研究の目的をはっきりさせ、科学的に追っていく。

4 研究の内容

- (1) 研究の仮説を立て、実験をし、その結果から1つずつ真実に迫っていく。
- (2) 結果のまとめ方は、表やグラフなどにし、わかりやすくする。
- (3) 実験の過程を写真で撮影しておき、レポートに貼りつけるとよい。

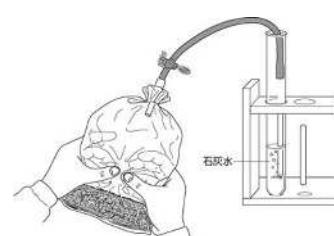
5 研究のまとめ

今までの研究をまとめ、研究の結論を出す。

※わかったこと、わからなかったことを明確にしておく。

6 おわりに

研究をやっての感想を簡単に書く。



【参考】過去の入選作品紹介 HP <http://www.city.hekinan.aichi.jp/kyouikuka/manabi/manabi.htm>

令和7年度 第1回まなびさぽーと中学生の部選考委員会

日時 令和7年 6月18日(水)

場所 碧南市役所5階教育委員会室

1 あいさつ（委員長）

2 内容

(1) 選考委員について

委員長	<input type="checkbox"/> 杉浦 哲	(西端中学校校長)
委員	<input type="checkbox"/> 榊原 康治	(新川中学校)
	<input type="checkbox"/> 藤浦 司	(南 中学校)
	<input type="checkbox"/> 上辻 将	(西端中学校)

※○：継続、□：新規

(2) 第1回選考委員会（募集・審査について）

ア 募集について

※募集要項は各学校で印刷し、理科の時間に生徒に周知する。

- ・タイトル 碧南市まなびさぽーと事業 科学コンクール
- ・内 容 科学に関する研究 A 実験を中心に追究したもの
B 観察・採集を中心に追究したもの
C 調べ学習を中心に追究したもの
- ・対 象 碧南市内の中学生、個人又はグループ
- ・応募締切 令和7年 9月 1日（月） ※各校で弾力的に設定
- ・提 出 先 理科担当教諭
- ・形 式 A4レポート用紙10枚程度（写真・資料を含む）
作品がある場合は一緒に提出
表紙に、研究題名、部門、学校名、学年・組、氏名を明記
- ・賞 ①最優秀賞（2万円／1点以内） ②優秀賞（1万円／2点以内）
③準優秀賞（5千円／2点以内）
④努力賞（2千円／15点以内 各学年各学校1点、最優秀・優秀・準優秀賞受賞の学年はなし）
⑤きらり賞（千円／20点以内 着眼点・発想のユニークなものや優れているもの）

イ 審査について（資料N01、N02参照）

- ・審査方針、審査方法、審査の観点について

各校校内代表作品について

9月12日（金）までに、P D Fでセンターサーバー（0指導資料→0理科→まなびさぽーと関係）フォルダ内に入れる。

選考委員は、第2回委員会（9月26日（金））までに作品を閲覧し、最優秀賞・優秀賞・準優秀賞を考えておく。

(4) 第2回選考委員会（優秀作品・努力賞・きらり賞選考会、表彰式に向けて）

・日時 令和7年9月26日（金）午後3時00分

・場所 教育委員会室

・事前に各校作品を読んでおき、3賞を選定する

※裏面へ続く

(5) 支給審査会（委員長が出席し説明）

・日時 令和7年10月23日（木）午前10時

・場所 碧南市役所 5階 教育委員会室

(6) 表彰式

・日時 令和7年11月25日（火）午後4時15分

・場所 会議室1（市役所2階）

・内容 表彰及び講評（準優秀賞までの入賞者と保護者、所属校長）

(7) その他

センターサーバーの所定の場所（期日等後日連絡）に、次年度に検討、申送事項を入力する。委員会は開催しない。

令和7年度 第2回まなびさぽーと中学生の部選考委員会

令和7年 9月26日(金) 15:00~
碧南市役所 5階 教育委員会室

1 各校の応募状況

学校名	年度	部門	1年	2年	3年	合計
新川中	R6	A	46点 (49人)	60点 (63人)	74点 (75人)	180点 (193人)
		B	3点 (3人)	6点 (6人)	5点 (5人)	14点 (40人)
		C	47点 (45人)	40点 (40人)	27点 (31人)	114点 (123人)
	R7	ものづくり	0点 (0人)	1点 (1人)	2点 (2人)	3点 (3人)
		A	72点 (75人)	37点 (40人)	53点 (61人)	162点 (176人)
中央中	R6	B	16点 (18人)	10点 (12人)	11点 (12人)	37点 (42人)
		C	18点 (22人)	39点 (45人)	34点 (36人)	91点 (103人)
		ものづくり	0点 (0人)	0点 (0人)	0点 (0人)	0点 (0人)
	R7	A	8点 (10人)	30点 (35人)	20点 (24人)	58点 (69人)
		B	10点 (12人)	4点 (4人)	4点 (4人)	18点 (20人)
南中	R6	C	17点 (17人)	27点 (27人)	32点 (32人)	76点 (76人)
		ものづくり	42点 (42人)	22点 (22人)	28点 (28人)	92点 (92人)
		A	36点 (42人)	20点 (24人)	25点 (31人)	81点 (97人)
	R7	B	6点 (8人)	2点 (2人)	3点 (3人)	11点 (13人)
		C	18点 (17人)	6点 (6人)	25点 (29人)	49点 (52人)
	R7	ものづくり	19点 (19人)	46点 (46人)	18点 (18人)	83点 (83人)
		A	106点 (112人)	100点 (109人)	125点 (140人)	331点 (361人)
東中	R6	B	14点 (16人)	20点 (23人)	8点 (8人)	42点 (47人)
		C	40点 (48人)	51点 (57人)	44点 (47人)	135点 (152人)
		ものづくり	点 (人)	点 (人)	点 (人)	0点 (0人)
	R7	A	101点 (122人)	78点 (105人)	101点 (112人)	280点 (339人)
		B	25点 (30人)	40点 (42人)	25点 (27人)	90点 (99人)
	R7	C	50点 (58人)	45点 (50人)	48点 (52人)	143点 (160人)
		ものづくり	1点 (1人)	2点 (2人)	1点 (1人)	4点 (0人)
西端中	R6	A	33点 (33人)	42点 (42人)	54点 (54人)	129点 (129人)
		B	4点 (4人)	8点 (8人)	9点 (9人)	21点 (21人)
		C	33点 (33人)	39点 (39人)	28点 (28人)	100点 (100人)
	R7	ものづくり	85点 (85人)	43点 (41人)	46点 (46人)	174点 (172人)
		A	62点 (62人)	36点 (36人)	41点 (41人)	139点 (139人)
	R7	B	8点 (8人)	10点 (10人)	10点 (10人)	28点 (28人)
		C	32点 (32人)	26点 (26人)	28点 (28人)	86点 (86人)
	R7	ものづくり	32点 (32人)	85点 (85人)	53点 (53人)	170点 (170人)
合計	R6	A	24点 (24人)	33点 (33人)	23点 (23人)	80点 (80人)
		B	5点 (5人)	1点 (1人)	1点 (1人)	7点 (7人)
		C	12点 (12人)	16点 (16人)	3点 (3人)	31点 (31人)
	R7	ものづくり	19点 (19人)	13点 (13人)	32点 (32人)	64点 (64人)
		A	16点 (16人)	16点 (16人)	21点 (21人)	53点 (53人)
	R7	B	4点 (4人)	5点 (6人)	3点 (3人)	12点 (13人)
		C	7点 (7人)	12点 (12人)	16点 (18人)	35点 (37人)
	R7	ものづくり	26点 (26人)	25点 (25人)	21点 (21人)	72点 (72人)
		A	217点 (228人)	265点 (282人)	296点 (316人)	778点 (832人)
合計	R6	B	36点 (40人)	39点 (42人)	27点 (27人)	102点 (135人)
		C	149点 (155人)	173点 (179人)	134点 (141人)	456点 (482人)
		ものづくり	146点 (146人)	79点 (77人)	108点 (108人)	333点 (331人)
	R7	計	548点 (569人)	556点 (580人)	565点 (592人)	1669点 (1780人)
		A	287点 (317人)	187点 (221人)	241点 (266人)	715点 (804人)
	R7	B	59点 (68人)	67点 (72人)	52点 (55人)	178点 (195人)
		C	125点 (136人)	128点 (139人)	151点 (163人)	404点 (438人)
	R7	ものづくり	78点 (78人)	158点 (158人)	93点 (93人)	329点 (325人)
		計	549点 (599人)	540点 (590人)	537点 (577人)	1626点 (1762人)

令和7年度 第23回まなびさぽーと中学生の部 入賞者一覧

【最優秀賞】 1点

「髪の毛のキューティクル観察Ⅱ～ストレートパーマの効果～」

東中学校 松井 杏樹（2年）

昨年の研究では、ストレートで艶のある髪にするために必要なケアの仕方を調べる研究をキューティクルに着目して行った。今年度は「ストレートパーマをかけると髪が痛む」と言われたことをきっかけに、続編として研究を進めることとした。

パーマをかける前後の根元と毛先を7つの条件で観察し、キューティクルの数と厚さを丁寧に比較している。

パーマを施し見た目はとてもきれいで整っている髪のキューティクルは、顕微鏡下ではダメージを受けていることが分かった。一方、パーマのかかっていない根元から生える髪はキューティクルが整っており、健康な髪であることが明らかになった。さらに、毛先はパーマの有無に関わらず、キューティクルが整わずダメージが溜まりやすいことを見出した。

実験の方法や技術、豊富なデータの比較は特に優れている。

【優秀賞】 2点

①「猫目から探る感情」

西端中学校 鳥居 真子（3年）

猫のイラストを描いているときに大きくかわいらしい目や細く鋭い目があることに気が付いた。これをきっかけに、どうして猫の瞳は大きさが変化するのかを調べた。

猫の瞳の変化が、興奮状態とリラックスした状態ではたらく自律神経のちがいに関連していることをつきとめ、瞳の大きさと感情の関係性に迫っている。もっとも評価できる点は、瞳の大きさを目全体に対する割合で数値化しているところで、環境と感情の変化を関連付ける材料となっている。さまざまな条件で観察した瞳大きさの割合を1つのグラフにまとめ、猫の感情の分布がわかるように工夫されているところも秀逸である。

②「～備蓄米を“美蓄米”に変えられるのか～」

南中学校 宮腰 結翔（1年）、宮腰 優花（3年）

世間で話題になっている備蓄米に注目し、批判的目的である味や風味は、工夫次第でおいしくできることを明らかにしている。着眼点が斬新でおもしろい。

デンプン量や浸水時の吸水量を普段食べている米と比較しており、より新米に近づける方法を考え出している。デンプン量はヨウ素反応を画像化して反応面積を割り出し、吸水量は5分おきに電子てんびんを用いて質量を測定し、定量的に分析している。特にデンプン量を調べる実験では、さまざまな濃度のヨウ素液で実験を繰り返しており、適切な実験に用いる薬剤の整備も行うことができている。

【準優秀賞】 2点

① 「ポップコーンの秘密～弾けない謎とは?!～」

新川中学校 3年3組 鈴木 瑞々奏

映画館で販売されているポップコーンの観察から仮説を導き出し、いきなり実験ではなく、ポップコーンがはじける理由を下調べしてから実験を行っている。また、弾けない粒の出現率をまとめ、仮説と比較するアプローチは科学的である。仮説と異なる結果について、さらなる仮説を立て追究している。

実験を通じ、弾けない粒が生じる原因を「加熱時間が足りなかったこと」と特定し、問題の解決を図っている。身近な体験から見つけた疑問を仮説、実験、考察、追究という科学的なアプローチで整理しながら明らかにしようとしているところがよい。

② 「浄化槽と生活に必要な水の水質検査～きれいな水を科学で守る～」

新川中学校 1年2組 大村 允天

日常生活の中でバキュームカーを見たことはあっても、その役割について知らない人へ知ってもらいたいという動機から研究が始まっている。

生活排水が浄化槽を通じて自然界に戻るまでの浄化過程を、自ら採取した水の汚れや微生物の観察を行いながら、残留塩素測定による数値化で裏付けている。

また、浄化槽だけでなく、近隣の川や池の水を採取して比較し、水質や生息する微生物を一目で区別できるようにまとめた。

努力賞（10点）個人9名 グループ1組

学校名	学年	氏名	研究テーマ
新川中	1	なし	
	2	長谷川 乃菜	アガーで何が固められる？
	3	なし	
中央中	1	金岡 沙和	氷の解ける速度～スポーツにはどのスポーツドリンクがいい？～
	2	澤 来空	ストローの笛で音の高さを調べよう～身近な素材で音の仕組みを探る～
	3	1年 中島 丈 3年 中島 清士郎 山本 隼大	これを知っていればもう安心！靴を早く乾かす方法
南 中	1	金原 未来	オオカナダモの光合成：光の色やその組み合わせによる変化
	2	井上 晴貴	地震に強い建物について
	3	なし	
東 中	1	岩崎 日向子	お弁当を少しでも早く冷ますには
	2	なし	
	3	伊藤 香穂	重曹と酸の世界
西端中	1	山下 葵	氷と入れ物の謎
	2	長脇 若果菜	簡単に捨てるな！！バナナを救え！！
	3	なし	

きらり賞（17点）個人14名 グループ3組

学校名	学年	氏名	研究テーマ	選考理由
新川中	1	鈴木 新平	僕とアリ迷路での対決	アリの出すフェロモンの効果を検証するために、自作の迷路を作成していた。この研究で、フェロモンが残る道を最短で進むことが確認できた。
	2	鍔本 花凜	“氷”居残り選手権	実験結果をデータ化し、グラフにまとめたことで、氷の量がどのように変化したかを視覚として理解できるように工夫されていた。
	3	神谷 光彦	金魚はグルメ？	飼育している金魚のエサの食べ方から、好き嫌いがあるという気づきが鋭い。エサの好みを分ける理由を様々な視点でとらえることができていた。
中央中	1	鬼頭 玄真	バントから学ぶ！！衝撃吸収の方法	野球部ならではの視点で、計画を立て実験道具から手作りしている。実験方法の発案から、実践までよくまとめられている。
	2	角谷 嶺介	カサゴをたくさん釣るためにエサの考察	釣りが好きな生徒が、カサゴを狙うために10種類ものエサで実際に釣りをしている。
	3	惣卜 琴未	鶏の卵の研究 2～卵の味は変えられるか？～	昨年度から引き続き研究を行った。与えるエサを変えると、卵の味が変わるので、長期にわたって追究した。
	3	石川 恵都 石川 祐斗	紙飛行機の滞空時間と飛行距離～異なる種類の差は大きいのか！？～	親戚の集まりで「よく飛ぶ飛行機は何だろう」と疑問に感じ、10種類の飛行機を風力、風向き、天気にこだわり実験を行った。

南 中	1	内山 詩 岡本 紗奈	鳴き声のヒミツ	セミという身近な生物に対し、ただ鳴き声を調べただけでなく、時間帯で鳴いているセミの種類も実際に調べることができていた。
	2	杉浦 舞音	炭酸水の甘さの秘密	炭酸水は実際甘くないが、甘く感じたという自分の味覚の不思議から疑問をもっているところがよい。
	3	菅沼 美羽	1分でも長く寝たい！ 最遅出発で遅刻しない通学研究	朝、ぎりぎりまで寝ていたが、遅刻したくないという欲望に正直なところから始まり、どのルートで何時に家を出れば間に合うかまでまとめきができている。
	3	鈴木 あみか 鈴木 愛海	海のパワーストーン第2弾！！入手難易度は耳石以上！？平衡石の研究	軟体動物にある、耳石と同様の役割のものを取り出すという、昨年度の研究を踏まえた継続研究をしている。
東 中	1	前田 理心	自分の好きなシフォンケーキはどれだ！？	卵白の泡立て時間でシフォンケーキの食感が変わることに着目し、おいしいシフォンケーキができるよう条件をいくつも変えて実験に取り組んだ。
	2	山田 朝陽	！！物が落ちた時の衝撃について！！	水への飛び込む様子を見て、どれほどダメージがあるのか着眼点から、様々な条件で落下実験を行い、粘土の変化についてしっかりとまとめてある。
	2	鈴木 琉可	ニホンカナヘビについて	ニホンカナヘビの脱皮について調べ、観察を通して条件を考えたエサについてと日光を浴びたかどうかについて実際に実験を行ったところが優れていた。
	3	岡田 彩花	なぜ暑く感じるのか？ 温度・湿度の影響について	天気予報の気温を鵜呑みにすることなく、碧南市の各地点で実際に測定して比較してその差について考察したことが優れていた。

	3	長谷川 瞳	ことわざは本当にできるのか	誰もが1度は聞いたことがあることわざを実際に検証してみようという着眼点。
西端中	2	梶川 紗野	霧吹きでできる虹について	霧吹きを使い、上手に虹をつくり撮影している。水溶液であれば有色でも虹ができるとの気づきもよい。

第 23 回 碧南市まなびさぼーと（中学校の部）表彰式 実施計画

1 日 時

令和 7 年 1 月 25 日（火）午後 4 時 15 分から 4 時 45 分まで

2 場 所

市役所 2 階 会議室 1

3 次 第

（1）開会のことば

（2）表彰並びにあいさつ（まなびさぼーと資金支給審査会会長）

（3）講評（受賞作品について）（選考委員長）

（4）閉会のことば

4 参加予定者

（1）最優秀賞受賞者

（2）優秀賞受賞者

（3）準優秀賞受賞者

（4）受賞者の保護者

（5）受賞者の中学校長

（6）まなびさぼーと資金支給審査会会長

（7）選考委員長

（8）市教委関係者 教育長 教育部長 庶務課長 庶務係長

学校教育課長 学校教育課指導主事